

接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証取得者	旭化成株式会社	
所在地	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町 1-105	
連絡先	Tel:03-5652-3888 Fax:03-5652-3891	
商品名	ARケミカルセッターMUタイプ	
接着剤の材質	(主剤)エポキシアクリレート樹脂、(硬化剤)過酸化ベンゾイル、	
認証種類	タイプ C	
認証番号	第 17-0008 号	
認証有効期間	平成29年3月12日～平成34年3月11日	

別添資料

【商品名】 ARケミカルセッターMUタイプ

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 (mm)	カプセル長 (mm)	内容量 (g)	アンカー筋	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
MU-8	8.0±0.25	70±3	4.2+0.4/-0	M8,W5/16	9.5	+0.2	70	+2
MU-10	10.5±0.25	90±3	8.4+0.5/-0	M10,W3/8	12		90	
				D10	12.5			
MU-12	13.0±0.25	110±3	15.3+0.8/-0	M12,W1/2	15		110	
				D13	16			
MU-16	16.5±0.25	120±3	25.9+1.3/-0	M16,W5/8	19		140	
				D16	20			
MU-20	18.0±0.25	170±3	43.0+2.2/-0	M20	23	170		
				W3/4	22			
				D19	23			

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. 全ネジの材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点 又は耐力(N/mm <sup>2</sup> )		伸び率 (%)	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16 を超え 40 以下	25 以下	25 を超えるもの
SS400	JIS G3101	400~510	245 以上	235 以上	20 以上	24 以上
SUS304	JIS G4303	520 以上	205 以上		40 以上	
SNB7	JIS G4107	860 以上	725 以上		16 以上	
SCM435	JIS G4105	930 以上	785 以上		15 以上	

2. 異形棒鋼の材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点又は 0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	伸び率(%)	
				棒鋼の径 (mm)	
				D25 未満	D25 以上
SD295A	JIS G 3112	440~600	295 以上	16 以上	18 以上
SD345	JIS G 3112	490 以上	345~440	18 以上	20 以上

3. アンカー筋のねじの等級

(8g もしくは 3 級) またはそれ以上の等級とする。

接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器	材質		ガラス				
			形状		別添資料による。				
			寸法・許容差		別添資料による。				
構成部品	項目 2	接着剤の材質	主材	エポキシアクリレート樹脂	硬化材	過酸化ベンゾイル	骨材	なし	
		接着剤の強度	$\tau_{fu} = 10\sqrt{\sigma_B / 21}$ (N/mm <sup>2</sup> ) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] $\tau_{fu}$ : 付着強度計算値 (N/mm <sup>2</sup> )、 $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )						
製品	項目 5	アンカー筋の材質	SS400,SUS304,SNB7,SCM435 (M8・M10・M12・M16・M20・W5/16・W3/8・W1/2・W5/8・W3/4), SD295A(D10)・SD345(D13・D16・D19)						
		アンカー筋の表面処理	アンカー筋に防食が必要な場合は、表面処理を施す。表面処理は、原則としてクロムめっき、亜鉛めっき、エポキシ塗装鉄筋とする。						
		項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。					
		項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。					
		項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm <sup>2</sup> 以上、36 N/mm <sup>2</sup> 以下					
製品	項目 11	環境条件(固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。						
		項目 12	引張耐力算定式	$T_{mc} = 0.23\sqrt{\sigma_B} \cdot A_c$ (N) に対し、95%以上の信頼性を有している。 「記号」 $T_{mc}$ : 引張耐力算定式(N)、 $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $A_c$ : コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm <sup>2</sup> ) (= $\pi \cdot \ell_e (\ell_e + d_a)$ ) $\ell_e$ : アンカー筋の有効埋込み深さ(mm) (= $L - d_a$ ) $L$ : アンカー筋の埋込み深さ(mm)、 $d_a$ : アンカー筋の外径(mm)					
以下は、オプション評価項目である。									
構成部品	項目 3	接着剤の物性	圧縮強さ		98.0 N/mm <sup>2</sup> 以上		引張り強さ		19.6 N/mm <sup>2</sup> 以上
			曲げ強さ		29.4 N/mm <sup>2</sup> 以上		圧縮弾性係数		980 N/mm <sup>2</sup> 以上
			耐アルカリ性		質量変化率 10% 以内				
	項目 4	アンカー筋	種類	全ねじボルト(メートル並目ねじ JIS B0205)、異形棒鋼(JIS G3112) 種類と呼び名(径)は別添資料による。					
			先端形状	寸切り					
	項目 6	連	外観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなどがアンカー筋表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着を阻害するものがないこと。 2) 油じみがないこと。 3) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。					
強度			降伏点・引張り強さ・伸び率		別添資料による。				
製品	項目 9	母材の種類	普通コンクリート						
			項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95%以上の信頼性を持って満足している。 0.4 $T_{mc}$ 時における軸方向の変位量が 0.4mm 以下、かつ 0.6 $T_{mc}$ 時の変位量が 1.0mm 以下、 [注] $T_{mc}$ : 項目 12 による引張耐力算定式				
	項目 14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} = 0.4\sqrt{E_c} \cdot \sigma_B \cdot s_a$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c} \cdot \sigma_B \leq 900$ (N/mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu} = (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s_a$ [記号] $Q_{mc}$ : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値(N) $E_c$ : 母材コンクリートのヤング係数(N/mm <sup>2</sup> )、 $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $s_a$ : アンカー筋の最小断面積(mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu}$ : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値(N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の規格引張り強さ又は保証引張り強さ(N/mm <sup>2</sup> )						
			項目 15	せん断剛性	0.6 $Q_{mc}$ 時又は 0.6 $Q_{mu}$ 時における水平変位量が 6mm 以下又は 0.3d (d: アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。				

[注] 項目1～15は、評価認証審査項目を示す。